

貸借対照表及び個別注記表

(第 16 期)

自 平成 25 年 4 月 1 日
至 平成 26 年 3 月 31 日

株式会社 J I M O S

福岡市博多区冷泉町 2 番 1 号
博多祇園M-SQUARE7 階

貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

<単位:千円>

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	2,437,831	流動負債	1,240,317
現金及び預金	643,473	買掛金	223,533
受取手形	3,750	未払金	730,204
売掛金	1,018,096	未払費用	31,348
商品	502,360	未払消費税	19,822
貯蔵品	102,271	未払法人税等	50,447
仕掛品	23,415	賞与引当金	86,482
前払費用	70,912	販売促進引当金	91,232
未収入金	3,486	その他	7,246
繰延税金資産	92,090		
貸倒引当金	△ 23,832	固定負債	292,400
その他	1,806	長期借入金	100,000
固定資産	1,086,522	長期リース債務	94,906
有形固定資産	202,117	退職給付引当金	97,493
建物	27,225		
器具及び備品	57,890	負 債 合 計	1,532,717
リース資産	112,804	純 資 産 の 部	
その他	4,198	株主資本	1,991,930
無形固定資産	506,932	資本金	350,000
ソフトウェア	418,676	資本剰余金	87,500
リース資産	5,428	資本準備金	87,500
ソフトウェア仮勘定	82,828	利益剰余金	1,554,430
投資その他の資産	377,472	その他利益剰余金	1,554,430
投資有価証券	60,260	別途積立金	1,328,727
子会社株式	17,500	繰越利益剰余金	225,703
関係会社長期貸付金	100,000	評価・換算差額等	△ 294
破産更生債権等	79,741	その他有価証券評価差額金	△ 294
長期前払費用	5,376		
敷金保証金	139,313	純 資 産 合 計	1,991,636
長期繰延税金資産	55,022		
貸倒引当金	△ 79,741	負 債 純 資 産 合 計	3,524,354
資産合計	3,524,354		

(注1)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注2)当期純利益 168,121千円

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① その他有価証券

・時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

・時価のないもの

移動平均法による原価法

なお、投資事業組合等への出資（金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの）については、組合等の事業年度に係る財務諸表及び中間財務諸表に基づいて、組合等の損益のうち持分相当額を純額で計上しております。

② たな卸資産

・商品、貯蔵品

総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

（リース資産を除く）

定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については定額法を採用しております。

主な耐用年数は以下のとおりであります。

工具器具備品 3～15年

② 無形固定資産

（リース資産を除く）

定額法

なお、ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

③ リース資産

定額法

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上しております。

④ 販売促進引当金

販売促進を目的とするポイント制度に基づき、顧客に付与したポイントの利用に備えるため、過去実績率に基づき将来利用されると見込まれる額を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。